

(日本史 A プリント(4))

# 1. 近代国家の成立 2. 明治維新と富国強兵

## a. 戊辰戦争と新政府の発足

①薩摩藩の挑発→1868年1月[1 鳥羽伏見]の戦いで幕府軍、新政府軍に大敗



②[2 戊辰]戦争(1868～69年)・・・[3 新政府]軍と[4 旧幕府]軍の戦争

→新政府軍による全国統一実現

ア)1868年1月 鳥羽伏見の戦い→幕府を[5 朝敵]とし東征軍を発する

イ)1868年4月 [6 江戸]城の無血開城→彰義隊戦争(上野戦争)

ウ)1868 [7 奥羽越列藩同盟]を結ぶ[8 会津]藩・長岡藩など東北など諸藩を破る

エ)1869年5月 [9 五稜郭]戦争、函館に立てこもる[10 榎本武揚]軍を破る。

③ 新政府、欧米列強との間の[11 外交関係]を整える。[12 堺]事件・兵庫事件など発生

新政府の外交方針は

(a) 幕府が外国と結んだ条約はすべて有効とし、平等なものとするために条約改正をめざす。

④ 1868.3 [13 五箇条の御誓文] 発布 = [14 天皇親政] を強調

「五箇条の御誓文」にはどのようなことが記され、何が強調されたか記せ。

(b) 公議世論の尊重と閣内和親などの新政府の方針を示し、天皇親政を強調した

・最終「広く会議を興し」←由利公正原案「列侯会議を興し」←坂本龍馬[15 船中八策]

・形式…百官を従え神に誓う←諸侯に誓約する

⑤ 閏4月 [16 政体書] …政府組織の整備(アメリカ式の三権分立)

権力を[17 太政官]に集中

7月 江戸を東京と改称

9月 年号を[18 明治]と改元([19 一世一元]制をとる)

⑥ [20 五榜の掲示]

五榜の掲示にはどのような内容が記され、どのような性格をもっていたか、記せ。

(c) 徳党・強訴の禁止・キリスト教の厳禁など旧幕府の対民衆政策をそのまま引き継ぐ

◎倒幕を実現した新政府がかかえる課題は何か？

ア) [21 欧米列強]と互角に対抗できる[22 近代]的で強力な軍事力を持った国作り。

→[23 富国強兵]・[24 殖産興業]政策を進める。

イ) [25 天皇]中心の[26 中央集権]的なまとまりをもった国づくりをめざす

→[27 **幕藩体制**]にもとづく地方分権的な国家体制＝諸藩の分立を克服

ウ)「世直し一揆」などをとおして力をつけた[28 **民衆**]を押さえ込む。

エ)こうした課題を実施しうる強力な[29 **政治的指導部**]の樹立の必要性

→[30 **天皇**]の名の下に権力を行使＝「日本は天皇が支配する国」との考えを広げる

## b. 中央集権への道

④国家の中央集権化＝[31 **廃藩置県**]の実施

ア) 1869.1 薩長土肥の四藩主、[32 **版籍奉還**]の上表を提出→実施

- ・藩主を[33 **知藩事**]とし、藩政への政府の介入を可能とする
- ・藩主の家禄と藩財政を分離



各地で一揆の発生、奇兵隊など諸隊反乱、士族反乱などの発生、各藩の財政崩壊あいつぐ

→旧体制での対応の不可能に



イ) 1871.7 [34 **廃藩置県**]の断行→国内の政治的統一を実現！！

- ・半「独立国」的存在の藩を廃止し、新しい地方行政単位[35 **府・県**]を設置する
- ・知藩事を罷免し、東京在住を命じる
- ・中央から[36 **府知事**][37 **県令**]を派遣
- ・藩兵の解散

⑤政治権力の中央集権化

政治権力から、公家・藩主を排除＝[38 **列藩同盟**]の可能性を絶つ

大宝令の官制を復活させる(神祇官・太政官(三院制)→各省)



かつての[39 **倒幕**]派＝薩摩・長州・土佐・肥前出身の少壮官僚(維新官僚)の手への権力集中(「[40 **藩閥**]  
]政治」の性格を強める)＝その際に[41 **天皇**]の権威を利用する

⑥軍備の近代化

1871 薩長土の藩兵を募り[42 **御親兵**]とする→その軍事力を背景に廃藩置県実施



廃藩置県＝藩兵の解散→(d) 武士(軍人&政治家・官僚)の存在意義が消滅 → 1876 秩禄処分へ



1873[43 **国民皆兵**]をめざす[44 **徴兵**]令を公布＝満20歳の男子を徴兵

→農民ら[45 **血税反対**]一揆で反発、[46 **士族**]反乱の激化

⑦ 1873[47 **内務**]省設置＝[48 **殖産興業**]と[49 **地方行政**]を一元的に進める

→ 1874 警視庁設置